

1210

閱

支那派 經 昭和拾七年四月七日
達軍總部 由 總副報第五七號

軍事秘密

各軍司令部 經由 櫻崎

支那派 陸軍部 第四九一號
司令部 昭和十七年三月廿七日

二六師 第四八號

現役軍人 變死ニ關スル件 致電

昭和十七年三月廿三日

第...師團長 矢野...

陸軍大臣 東條英機 致

首題ノ件ニ關シテ左記ノ通特別報告ス

左記

所属部隊官等姓名

獨立步兵第...師團第一中隊

(昭和五年徵集) 陸軍一等兵

二月日時場所

昭和十七年三月十五日 七時三十分頃
第...師團司令部 參謀部 傳令 宿舎東南隅 物置外

五票

陸軍部 17.4.17 第10号 課費

陸軍部 17.4.16

陸軍部 17.4.16 受取簿 兵務課

陸軍省 17.4.20 50 衛生課

陸軍部 17.4.22 受計

恩給

三 手 銃

本人既當ノ三八式歩兵銃ニ貫彈一發ヲ裝填シ物置内南側壁ニ背ヲ倚セ北面シテ坐シ銃口ヲ右手ヲ以テ右眼部ニ押當テ左手指ヲ以テ引鐵ヲ押シ發射右眼窩後頭部穿透性貫通銃創(眼及腦損傷)ニテ自殺ス

自殺ニ使用セル貫彈ハ師團司令部勤務ノ為派遣ノ折交付セラレタル本人携行彈ニテ勤務ヲ免セラレ歸隊ノ為保管者ヨリ歸還前日本人ニ交付レタルモノヲ使用ス

勤務兵ノ携行彈數ハ百ヲ發トシ且勤務ト同時之ヲ引キテ(兵器部ニ依テ保管スル如ク規定シアリ)

四 平素又ハ愛死前夜ニ於テ参考事項

本人ハ昭和七年七月三日參謀部傳令トシテ勤務ヲ命令セラレ服務シアリタル者ニカ本年二月下旬頃ヨリ神經衰弱症

の傾向アリシテ以テ療養セシメアリタル處に經過シカサル爲
 気分轉換ノ爲三月十日原隊復歸ヲ命シ所屬中隊ニ直
 接歸還セシムルハ三月十三日早朝所屬中隊所在地へ自動
 車駐車場ニ到ラシメタル處時間ヲ間違ヘテ乗リ遅レ
 ムル爲再ヒ傳令室ニ歸リ次便(三月十五日朝出發)ヲ待機
 シアリタルモノナルカ平素引込ミ思案ニシテ小心アルト神懸衰
 弱ナリシヨリ歸還ヲ命セシレ且自己ノ不注意ヨリ歸還自動
 車ニ乗リ遅レタルヲ痛感シアリテ悲觀的態度アリタルヲ
 以テ特ニ洞室ノ安藤上等兵ニ之カ監視ヲ命シアルモノナリ
 而シテ三月十五日ニ起床時限三十分前頃ヨリ(起床時限時表カ
 起キ装具等ヲ整備シ室入口附近ニ取揃ヘル等何等平常
 ト異ル様子モ無カリシカ七時十分頃便所ニ行クト稱シ室
 外ニ出テ行キタル處(此際室入口存シ小銃ヲ携行セルヨリ)間モ

五、原因

ツノ銃聲ヲレテ音響ヲ聞キ、膝上等、直感的不
吉ヲ感シ直チニ飛出シ附近ヲ探查シタル處隣接セル物道
内ニ自殺シタルヲ發見シ直チニ關係上官ニ報告シタルヲ

本人ハ平素温順ニシテ稍々引込ミ思案且小心ナル者ニ處
最近神經衰弱症カ若干昂進シアリシモノノ知ラカレリ
注意セキ在リシモ隔々之カ原因ヲ歸遂ヲ命セシ且歸隊
自動車ニ乗り違ヒタルニ因リ自己ノ責任ヲ痛感苦慮シ
發作的ニ自殺ヲ決行シタルモト思料セラル

六、故意又ハ不可抗力
既遂、未遂ノ別

故意 既遂

七、處置

報告ニ依リ軍醫及憲兵之會檢屍ノ結果全ク絶命シ

入、責任者ノ處分

アリタルヲ以テ直々ニ死體ヲ收容セリ

今ノ本人ノ精神的缺如ニ基因スルモト認メタル、府一般ニ勤務員ノ指導ニ注意ヲ與ヘタルニ止ム

以
上